

みんなの憩いの場所 街カフェ「楽」



お店の外も中も、お花でいっぱいのかわいいカフェ「楽」。「楽」というお店の名前の由来は「みんなで楽しく、気楽に」という気持ちを表しています。

私たちは取材とかねて、ランチを食べました。店長オススメの「楽カレー」は売り切れ。パスタをいただきました。みんな別々の種類のパスタを食べましたが、どのパスタも子どもでも食べやすくとてもおいしかったです。

カフェ楽は、2016年4月にオープンしました。その前はお花やたね、土などを扱うお店でした。今もお花やかわいい動物の置物などもこし置いて販売しています。

コーヒー一杯で何時間いてもOKで、みんなが「楽しく」「気楽」にゆっくりできる、くつろげるとよろばれています。

最後に店長の石川さんに本牧のいいところを聞きました。「本牧は、元町、山下公園、みなとの見える丘公園など、観光できる場所が近く、便利で住みやすい場所ですよ」と教えてくださいました。ぜひカフェ「楽」にくつろぎに行ってみてください。



街カフェ 楽 045-621-6307
10:30-17:30
定休日：日曜、月曜

イトインもある！「おおの屋」

「おおの屋」は、大正時代から「上台公設市場」の調理場として使われていました。8年前に改装し、現在のお店になりました。そんな「おおの屋」のお総菜は数え切れないほどあり、その全てをわずかに3人で手作りしています。

お店の中でイトインもできて、メニューも充実しています。そんな中でも特に人気なのは、オムライスと煮魚です。大正時代から続いているおかずはありますか？と聞いてみると、豆の煮物などの豆をつかった煮物だそうです。うずら豆は農林大臣賞を受賞しました。

「おおの屋」は、気軽に入れるお店で、おかずはとても買いやすい値段です。取材中にもおぎゃくさまが訪れ、おかずやお弁当を買っていました。



おおの屋 045-622-8271
9:00-18:00
定休日：日曜、水曜（祝日は営業）

本牧リボンタイムズ Since 2018

私たちが「リボンズ Jr. 編集部」です！



本牧リボンファンストリートをもっと子どもたちに親しんでもらいたい、という商店会のみなさんの呼びかけで集まった、地元のこどもたちと「特命子ども地域アクター」（NPO 法人ミニシティ・プラスと神奈川県の協働事業）のこどもたちが、今回はじめて取材し、レポートする新聞を発行します！

発行：本牧リボンファンストリート & NPO 法人ミニシティ・プラス

90年前からある！「岩太屋」

岩太屋さんは90年前から本牧でお店をやっています。現在は2代目の岩田じゅんいちさんとおくさまのよしこさん、息子さんの3人でお店にたっています。2代目じゅんいちさんはなんと！今年で90歳になるそうです。みなさんととても元氣なご家族でした。お店での一番人気の商品はビール。お仕事帰りの方がよく買っていきます。立ち飲みコーナーもあり、年配の方たちが、お店の方とのふれあいを目当てにやってきます。おすすめは、産地直送の新鮮たまごと、こだわりの牛乳だそうです。お正月には金ばく入りの大きなお酒がよく売れます。重いものを買ったら配達サービスもしているので、みなさんも利用してみてください。最後に本牧のよいところを聞くと「みんないい人」「住めば都」と教えてくださいました。



岩太屋 045-622-8566
8:00-20:00 定休日：なし 不定休

元気で気さくな羽生田さん 「安田屋呉服店」

安田屋呉服店 045-623-5781
10:00-18:00 定休日：日曜

とても元氣な88歳の羽生田さんのお店、安田屋呉服店。お店は先代が明治44年から始めましたが、大正12年9月に関東大震災で一度つぶれてしまい、さらに昭和20年5月には戦争で爆弾を落とされて燃えて無くなってしまったり、いろいろ苦難がありました。木造では弱いと考えて、地震や火災に強いビルに建て替えました。

8月第一週のお祭りのときは、とてもにぎわいます。お店には呉服だけでなく、提灯も売っていました。本牧神社のお祭りで使う手ぬぐいなども扱っています。仕立てもできて、買い物をすると無料でズボンなどを直してくれるそうです。

羽生田さんに本牧のよいところはどんなところですかと聞くと、昔からよく知られている地域であることと、商店街でお店の人とコミュニケーションができる所、だそうです。

とても気さくで元氣な羽生田さんにぜひ会いに行ってみてください。



お薬以外にも扱う「小林薬局」

小林薬局は70年くらい前から営業しているお店です。家族で仲良く営業しています。商店街に2つお店があり、ひとつは処方せんで薬を扱っているところと、生活雑貨も置いているお店があります。

私たちが取材したのは、生活雑貨を売っているお店です。お店の人気商品は60-70代のお客さんが多いからか、ライトループです。小林さんのお母さんの趣味もあり、帽子や雑貨も充実していて、帽子好きの私はうれしくなりました。もちろん薬も売っていて「この間もらった薬が効いて良くなった。ありがとう」と言ってもらえるのが、うれしいと言っていました。小林薬局には薬を買いに行くときだけでなく、生活雑貨も買いに行ってみてください。



*今回、小林さんは、リボンズ Jr. 編集部の取材対応の調整などをたくさんお手伝いしてくださりました！
ありがとうございました！！

小林薬局 045-622-7147
9:00-21:00
定休日：なし